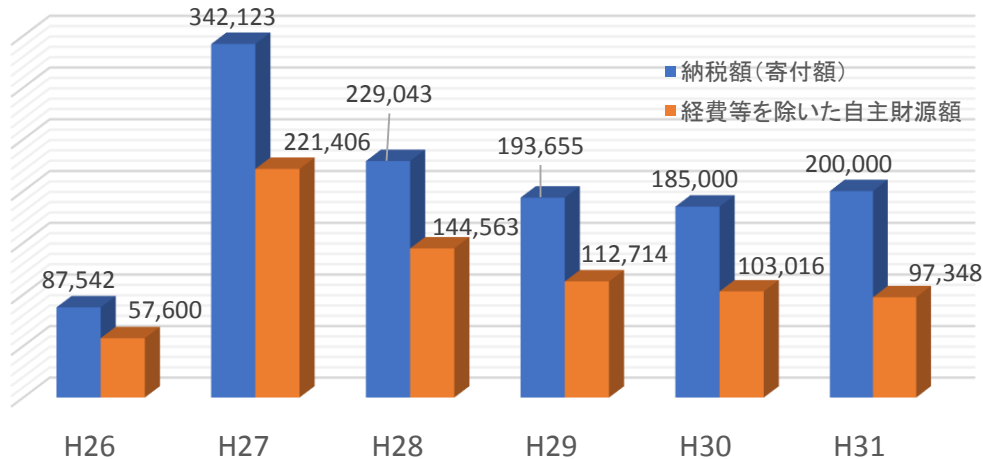


コウノトリ豊岡寄付金（ふるさと納税）の推進

1. ふるさと納税額について

ふるさと納税額の推移

(単位:千円)



※H30は見込み、H31は当初予算額

【課題】

- ふるさと納税制度による寄付金獲得を巡る自治体間の競争激化。
- 総務省基準（返礼品は寄附金額の3割以内、地元産品）を順守しない一部自治体に寄付が集中する傾向にある。
※ H31年度に地方税制度の改正により、基準を順守しない自治体への寄附は税控除対象外となる見込み。
- 本市の寄付受入サイトでの返礼品の見せ方（写真、商品説明など）に魅力が不足している。

2. 寄付金増加にむけた取組み

(1) 受入窓口の拡大

寄付受入窓口は、H26年度の開始時は「ふるさとチョイス」、H29年度に「楽天ふるさと納税」、H30年度に「Wowma!(KDDIグループ)」を追加し、現在3つの窓口で運用を行っている。H31年度からは、新たに「さとふる」(ソフトバンクグループ、業界シェア第2位)を追加し、4つの窓口で寄付の受け入れを行う。

(2) サイトの魅力度向上

現状では、返礼品の商品説明や写真の枚数が少なく、返礼品の魅力が十分に伝わっていると言えない状況である。

H31年度は、取材、写真撮影、内容紹介文作成等のWebデザインを外部の事業者（市内）に委託することにより、サイトの魅力を向上させる。

【現状】

【イメージや情報などを記載することで魅力度アップ】



(3) 豊岡ファンの獲得

豊岡市に寄付された方に対し、感謝の意を示すとともに、引き続き豊岡を応援するリピーターとなっていただくため、ふるさと応援はがきを作成し、年に1～2回郵送する。